

# 新年のご挨拶

理事長 原口 和久(鴻巣市長)



あけましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、本組合の事業運営に関しましては、平素より多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルスの感染拡大により、首都圏を中心に緊急事態宣言等が発令されたため、共済事業を中止するなど対応を余儀なくされ、各市町村等におきましても、感染拡大防止対策を講じながらの住民へのサービスの提供等、たいへんなご苦勞をされたことと思います。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と組合員皆様が平穏な日々に戻りますことを心からお祈り申し上げます。

さて、私たちの共済制度は、医療・年金・福祉の3つの事業を柱として実施しておりますが、共済制度はかつてない変革期を迎え、社会保障制度全体の枠組みの中で、様々な議論が行われ、令和元年財政検証を踏まえた「年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律」では、長期化する高齢期の経済基盤の充実を図るため、令和4年4月から在職中の年金受給の在り方の見直し、受給開始時期の選択肢の拡大などの措置が講ぜられました。

また、10月には、短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大が図られることになり、現在、厚生年金・健康保険の適用対象である多くの非常勤職員が、共済組合の短期給付・福祉事業の適用を受けることになるため、令和4年度以降の事業運営に大きな影響を与えることになります。

このような状況の中、医療費に係る短期経理につきましては、団塊世代約800万人が75歳以上の後期高齢者になり始める令和4年度以降、医療費などの社会保障費が

急増することから、高齢者医療に係る拠出金の増加が見込まれ、短期財政に影響を及ぼすことが危惧されますが、皆様が安心して医療を受けられるよう努めてまいります。

年金制度につきましては、今後、実施される制度改正の内容を周知するとともに、年金記録の管理、裁定事務を行う年金実施機関として、適正に業務を行うとともに、ワンストップサービスの充実に努めてまいります。

福祉事業につきましては、現在、安定的な運営をさせていただいていることから、共済懇談会に提出いただいた多くのご意見を踏まえ、組合員とその家族の生活の安定と福祉の向上に努めてまいります。

なお、実施率の低い特定保健指導につきましては、引き続き、コラボヘルスの推進に努め、実施率向上に取り組むとともに、組合員とその家族の健康の維持と予防を効率的・効果的に実行してまいります。

草津保養所「アルペンローゼ」につきましては、組合員の皆様のご愛顧により、昨年11月に30周年を迎えましたが、引き続き、新型コロナウイルス等の感染防止対策を講じながら、組合員の皆様やご家族の方々のご利用をお待ちしておりますので、格段のご愛顧を賜りますようお願いいたします。

今後も共済制度の健全な運営を図るため、役職員一同、最善の努力をしておりますので、一層のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、各自治体のご発展と組合員皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしく願いいたします。

「市町村長側議員」

理事長 原口 和久(鴻巣市)

理事 大橋 良一(加須市)

理事 (理事長職務代理者)

理事 富岡 勝則(朝霞市)

理事 清水 勇人(さいたま市)

理事 頼高 英雄(蕨市)

理事 林 伊佐雄(三芳町)

理事 川合 善明(川越市)

理事 吉田 信昇(滑川町)

理事 吉田 信解(本庄市)

理事 中野 和信(蓮田市)

「職員側議員」

理事 國分 政義(さいたま市)

理事 坂本 善雄(深谷市)

理事 堀部 信和(久喜市)

理事 西岡 英児(吉川市)

理事 半貫 芳男(狭山市)

理事 山本 一人(所沢市)

理事 尾熊 純(川口市)

理事 市川 聡一(秩父市)

理事 高橋 圭介(富士見市)

理事 武山 裕也(上尾市)

学識経験監事 寺山 昌文

事務局局長 中本 紀之

外職員一同

謹んで  
新春のお慶びを  
申し上げます。